

外部講師を活用した 教育の充実と推進



コロナ禍において、本来の教育活動や行事が制限される中、上磯小学校では、児童の学びの機会を継続できるように外部講師を活用した教育を進めております。感染対策や時間、環境に工夫しながら、取り組んだ教育活動について紹介します。

* 一日防災学校の取り組み

防災について考えを深め、実践に繋げるため、一日防災学校を実施しました。避難訓練と保護者に災害時を想定した引き渡し時に行く安心安全メールによる安否確認（開封確認要求）訓練を行い、協働体制を整えました。

外部講師を活用した学習は、函館地方気象台とオンライン（Zoom）で連携した授業を展開しました。



函館気象台とオンライン授業
「津波から逃げる」（5年生）



北海道地域防災マスターを招いて
～「防災」って何のため？災害ボランティアが見た被災地～（6年生）～

市役所や消防署、警察署などより多くの関係機関や保護者との連携を考えていましたが、コロナ禍のため、当初の計画から内容を変更せざるを得ないものもありましたが、担任による「新聞紙で作るスリッパ作り」など体験的学習も取り入れました。



身近な新聞紙でスリッパ作り

* SDGsを意識した 教育活動

SDGsの理念に基づき「一人も取り残さない」ために、持続可能な社会の担い手を育てていくことを目標に高学年に実施しました。社会科や理科、総合学習の時間で子どもたち自身がタブレットを活用し、学びを深め、まとめとして、外部講師による授業を行いました。

SDGs 17の目標 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



6年生授業の様子
北海道電力ネットワーク株式会社
押切 哲氏 石田 千裕氏

子どもたちは、常に「行動の意識付け」をキーワードとして学習を進めています。

* がん教育

より専門性の高い外部講師を招いた授業は、子どもたちの意欲や関心を高めます。6年生の体育科（保健）「病気の予防」の学習では、その学習内容である「生活習慣病」と「がん」が深く関わっていることにも触れ、児童があらためて自分の普段の生活を見直すきっかけとなりました。



湯の川女性クリニック
小葉松洋子先生の講演の様子

* 今後に向けて

外部講師を招いて学習を進めることは、児童にとって有意義な学習ですが、時間の確保、連絡調整・児童の発達段階を考慮した内容精選など課題もあります。単発で終わらず、系統立てながら継続し、行動化につながるよう、土曜授業などの時間を活用しながら、進めていきたいと考えています。

（上磯小学校 養護教諭 高橋 里美）